

週刊さきがけスポーツ

vol. 153

BB秋田アカデミー初 トップチーム昇格

小野

第一学院高校秋田キャンパス3年

目指せ スタメン

BB秋田生粋の選手として
プロの第一歩を踏み出す小
野＝秋田市のBB秋田

進め!!
ブラウブリッツ
JB

サッカー選手として憧れていたブラウブリッツ秋田（BB秋田）U-18（18歳以下）の熊林親善監督に鍛えられ、小野敬輔（18）＝第一学院高校秋田キャンパス3年＝が念願のプロ入りを果たした。BB秋田のアカデミー（U-15、U-18）から初のトップチーム昇格。160センチ、59キロの小柄だが、正確なパス、優れたボールコントロールを武器にボランチ、トップ下での活躍が期待される。小野は「地元チームでプロサッカー選手になる夢をかなえられた。早く試合に出場したい」と笑顔で語った。

ど、サッカー漬けの日々を送った。

「厳しい練習が力に」
熊林監督の下で走り込みを徹底、基本技術を一からたたき込まれた。小野は厳しい練習だった。それを乗り越えていくことで、力が付いていくのを実感できた」と語った。県内高校サッカーの強豪と対戦する高円宮杯U-18県リーグ1部では11勝1分けの負けなし。2位以下を大きく引き離して初優勝を飾った。

「小さい頃から熊林監督のようにつまみ、格好良くなりたいと思っていました。小野にとって熊林監督は、県内小学生サッカーの名門・仁井田レックススターズ（秋田市）の先輩に当たる。熊林監督は秋田商高からJリーグなどを経てBB秋田入りし、昨季終了後に引退、今季からBB秋田U-18の監督を務めている。

小野は御野場中に入学生した2011年、この年に創設されたBB秋田U-15入り。県外チームとの試合で技術を磨き、3年時には県ベストイレブンに名を運んだ。

サッカー漬けの日々
高校入学の2014年に創設されたBB秋田U-18に加わった。主に午前中に行われるトップチームの練習に参加するため、通信制の第一学院高校秋田キャンパスに進んだ。平日はトップチームでプロ選手と共にボールを追いつけ、午後7時からU-18で練習に励んだ。トップチームの沖繩キャンプに帯同するな

BB秋田生粋のプロ選手として第一歩を踏み出す小野はフィジカル強化を課題に挙げた上で、熊林監督のようにつまみ、一本で試合を決められる選手になりたい。1年目からスタメン入りを目指す」と意欲を燃やしている。（鈴木千明）



高円宮杯U-18プリンスリーグ東北
参入戦で攻め上がる小野＝11月、西
目カントリーパークサッカー場